

1. 件名：高速増殖原型炉もんじゅの廃止措置計画に係る面談
2. 日時：令和4年10月26日（水）10時00分～10時40分
3. 場所：原子力規制庁 10階会議室（TV会議により実施）
4. 出席者
原子力規制庁
原子力規制部 審査グループ 研究炉等審査部門
細野安全管理調査官、上野管理官補佐、有吉上席安全審査官、
小舞管理官補佐、加藤原子力規制専門員
文部科学省
原子力課
横井原子力研究開発調査官
国立研究開発法人日本原子力研究開発機構
敦賀廃止措置実証本部 本部長 他4名
高速増殖炉もんじゅ 所長代理 他6名
5. 自動文字起こし結果
別紙のとおり
※音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
6. 配付資料
配付資料なし

時間	自動文字起こし結果
0:00:01	はい、原子炉規制庁の加藤です。それでは本日の面談を始めさせていただきます。本日の面談ですけれども月曜日に開催しましたもんじゅ監視チーム会合のラップということで行いたいと思います。
0:00:13	当機構さん、原子炉機構さんの方からの資料をご準備してるといふうにお伺いしておりますので、画面共有で共有していただいてご説明をお願いしたいと思いますよろしくお願ひします。
0:00:26	はい。現状機構の地震本部の荒井でございます。月曜日監視委員会ご対応いただきましてありがとうございます。その時に一員会合でいただきましたご意見、あとコメント等を踏まえまして、
0:00:40	機構としての現状の認識とあと今後の対応について資料にまとめました。市債の説明については担当の方からさせていただきますので、よろしくお願ひいたします。
0:00:52	はい。原子力機構の城でございます。ちょっと事前に資料をお送りすることができていなくて大変申し訳ございません。今画面の方にですね、性能維持施設の見直しに関する今後の対応方針についてと、
0:01:07	こういうものをお出しさしていただいておりますけれども画面の方見えておりますでしょうか。あ、ごめんなさい、ちょっと
0:01:16	中断させていただきますすいません。
0:01:23	アリヨシです。
0:01:25	相原さん先日もありがとうございます。
0:01:28	今日ギャップなんですけど、
0:01:31	まずはね、
0:01:33	この間の会合で、
0:01:36	こちらの意図が伝わったかといったところがまず確認のポイントなんですけど、それはね、どういうふう理解されてますかね。荒井さんにお伺ひします。
0:01:47	はい。アライの認識としましてはですね、
0:01:52	まず、そのプラント状態、廃止措置に係る性能維持設備については、廃措置段階の進捗に伴い、当然プラント状態が変わっていきますから、
0:02:05	それについて適切な見直しが必要、非常に重要だということ、一方で、性能維持設備というのは、原子力の安全に位置をする、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:02:19	設備であって、これ前回のを見た i n c h チーム会合でも説明させていただき、資料にも入れましたけれども、原子力の災害防止に関わる機能というものと、一方でもんじゅは、
0:02:35	ナトリウムを保有スルー、冷却炉等の冷却炉であるということから、廃措置を進捗させる信じするために必要な安全確保に必要なもの。
0:02:46	これらをまとめて、原子力、現職安全というところとちょっと聞こえ方が良くなる原子力施設ですね安全確保に必要なもの、
0:02:56	これらを性能維持設備とする、そういうフロー図を示させていただきましたけども、その観点から性能維持設備っていうのをしっかりと抽出して、
0:03:07	必要な機能を、性能維持設備については維持をする、不要となったものは廃止をしていく。そういうところをしっかりと、まず考え方の認識を考え方認識をちゃんと持ちなさい。
0:03:20	それに応じて第二段階に入るタイミングで、どの設備が性能維持設備なのかというのを明確にした上で、明確にいなさい。それが、
0:03:31	一番その大、上流側で抑えなくちゃいけないことだと、それをしっかりと説明しなさいあの考え感、認識してますか
0:03:42	検討してますか。そういうことだったというふうに理解しております。
0:03:46	はい。それについて他にありますか。
0:03:52	それに続いてではですね、そういうその以降はですね、我々が
0:03:59	このフロー図の中で決めました自主管理設備というものについて、我々が考えていた
0:04:09	性能維持設備ではない、維持管理設備としたものについての運用というもののところ、その部分が
0:04:20	何ていうかな、故障とか点検等を、の際にですねまた性能維持設備に戻すそもそもその考え方概念というものが、
0:04:32	性能維持設備の概念というものを間違った解釈というか、しているというふうに、そこをしっかりと認識しなさいということだというふうに理解しております。はい。
0:04:46	えっとね
0:04:48	概ね結論的にはそういうことだと思うんですけど、おそらくあの会合でね、伝わらない、伝えられなかったことが、衛藤奥深く、
0:04:58	ということではないんですけどあると思ってて、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:05:01	これはね、以前荒井さんと、まあね、意見交換したときに、新居さん自身がおっしゃってました。
0:05:09	燃料が出ていけばね、あとは只野どんからだねってみたいところがあると思うんですけど。
0:05:15	こちらもね、どっちかっていうとそういう認識なんです。
0:05:18	だから、燃料取り出しが終了して、燃料池周囲は、確かに手厚くやらなきゃいけないんでしょうけど、
0:05:27	あと残るリスクって何だろうねと、ナトリウムもそんなに放射化されてないし、
0:05:32	現状ではね、原子炉容器が野津よければモードにして凍らしていると。
0:05:39	で、
0:05:40	確かにその先はわからないけれど、原子力災害としてはね、そんなに大きなものはないんじゃないか。
0:05:47	という認識があって、
0:05:49	そうするとね、そういうのをちゃんと踏まえて、減らしましょうと。
0:05:53	いったのが、すごく根底にあります。
0:05:56	だからまずその認識から確認して行って、性能維持施設ってのはどうするべきか、ちゃんと減らしていきましょうと。
0:06:05	合理的にといったところをね議論したいというのは、こちらの言いたかったことなんです。
0:06:10	だからほとんどアライさんのおっしゃってることは合ってると思うんですけど、リスクの認識ってのはやっぱりちゃんと合わせないと、今後できるか合わないのかなと思っておりました。
0:06:20	私から補足、以上でございます。
0:06:23	ありがとうございます。
0:06:26	このところで、原子力災害というもののリスクというものと、あと我々は措置をしっかりと進めていかないといけないという意味で、
0:06:38	広い意味での安全確保ですね工程を遵守する、キープしていく、着実にやっていくそれが廃措置を進めて、
0:06:50	放射線廃棄物というかそういうのをしっかりと管理していく、極小化していくという観点からも、広い意味では安全確保だから、
0:07:01	二段階の安全っていう単語があるのでそこのところがですね、ああいう公開の議会合でやってると皆さんのご発言の一つ一つのところを見るとそれはどちらを指してるのかというのが、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:07:14	少し私、この間の皆さんのご意見聞いていて、現職安全と言われてるその安全の領域が第一段階っていうか、第1フェーズのその防災の安全なのか。
0:07:25	もう一つ先側の僕らで言う③とか④でいう安全というところがですね、ちょっとその、
0:07:33	御混線したなあというふうには感じました。はい。ありがとうございます。いえ、それはおっしゃる通りで、そこは確かに議論がね、これまでちゃんとされてなかった。
0:07:43	そういったところで、そこに曖昧さがあったというのは、こちらも同様に思っております。
0:07:49	だから先日の会合資料で5ページに今新居さんおっしゃったフロー図がありますけれど、
0:07:56	この5ページの後に、性能維持施設って選んだ結果が載ってるわけなんですけど、ここにね、ボーイワンクッションを検討しなきゃいけないところがあるだろうと。
0:08:08	いったところがねこちらの認識でございます。
0:08:11	だから
0:08:12	規制庁としてはね、炉規法に基づいて、どこまで見るのかといった頭があって、
0:08:18	原子力災害がないとしたらその労働安全もね、
0:08:22	どこまでこちらが介入するのかといったところが、
0:08:26	まだ議論としては多分あるんです。
0:08:29	そういった時に性能維持ってのは何だって話が、結局よくわかってなくて、
0:08:34	それでいて、そういう議論がないまま、もう何か性能、維持施設減らしました。
0:08:41	あとは自主にしてやりますから、これこれで了解してくださいと言われてた時に、
0:08:47	何かね、結局、受診したところで本当にいるものがそこに隠れてるんじゃないか。
0:08:52	といったところがね、確認できないわけですね。
0:08:55	今そこを一番懸念してるということなんです。
0:09:01	はい、わかりましたありがとうございます。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:09:04	今日これから担当の方からも説明をさせていただきますけれども、その部分を誤解というか混乱させてしまったところもありますので、この自主管理設備という単語がやはり適切ではなくて、
0:09:19	ちょっとそこは、整理をさせていただきたいというふうに思っています。一方でふげんのようにですね不要となったものについては、容量の観点であるとか、その代替機の観点であるとか、
0:09:35	そういう、主にふげんの場合、ダウンサイジング的にですね、設備を減らしていった
0:09:43	今、まさにその再々補正を今日にもさせていただく事案がありますけれども、ああいうふうに上の方は減らしていておりますので、廃棄対象にする部分については、
0:09:57	やはりああいう一つ一つ丁寧にですね、その廃棄しても本当に大丈夫なんだというところをその規制として確認いただく部分を丁寧に説明していく。
0:10:09	いきたいというふうに考えています。はい。
0:10:12	それで、この間の会合がね、
0:10:15	なぜあんなにこう混線してしまっとかみ合わなかったのかといったところなんですけれど。
0:10:20	本来例えば荒井さんがそう疑問に思ったことがあれば、
0:10:25	この場で言ってもらえばよかったんです。
0:10:28	結局それを言わなくて、出野さんですかねあとウチハシさんか、もう自分たちの主張をね、繰り返すだけ。
0:10:38	こちらの方はわかったんですかと言ってもね、自分たちの主張を繰り返す。
0:10:42	ということでねすごくコミュニケーションギャップを感じてね。
0:10:46	これはこのやり方を改めないと、また次も何か面白くない会合になってしまうと思うんです。
0:10:53	で、
0:10:53	まずね私としては今日欲しいのは、この間の会合でこちらの好意度を理解しましたか。
0:10:59	もう一度理解していただいたというのがね、今日、おそらくポイントで、
0:11:04	この先はね、また公開でやらなきゃいけないと思うんです。
0:11:07	今日何か先走って降車野菜というんだったら、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:11:11	あまりねそれはもう、この内輪の場でこそやらよろしくなくても公開でやるべきだと思います。
0:11:25	はい。構内さ、一昨日の目アライですけれども一昨日のメイン関心の中で性能維持施設、第2段階、
0:11:37	部長だったかな部長が管理官どちらかからご発言あったところでダイダン下伊井に入る際の性能維持設備がちゃんと
0:11:49	決まっていますかというところについて、資料中もですねそういう
0:11:55	フロー図は示したものの、
0:11:58	どういうところがどう、プラント状態が変わってそれによって性能維持設備というのはどう変わったのかで、変わり方もですね、
0:12:08	その原子力災害防止というその止める冷やすというまとめりゃ内で冷やすとか閉じ込めるという観点であるとか、燃料を取り扱うという重要な設備というところで、
0:12:22	性能維持設備となっているものが第二段階になると、機能が変わっていくわけですね出すんですけど、やはり遮へい体取り出しというものを、
0:12:32	を行うというのは、敗訴町を円滑に着実に進めるためには、しっかりとして、管理しないといけないので、このフローでいくと丸さんみたいなところの例、グレードで、
0:12:46	性能維持設備として我々としては、しっかり管理していくと、そういうそういうプラント状態がどう変わって、それによって性能維持設備の考え方がどう変わって、
0:12:58	トータルとして、大幅に激減はしないんですねまだまだ燃料お洒落タイム取り出していかないといけないというところの説明が資料上もですね不足していたなというふうに反省をされていて、
0:13:12	そういうのを説明させていただくのをもまずさせていただくというのと、あとは、今③とか④のところについて、どう考えていてさらにその先
0:13:26	どういうところを廃止設備にしていくのかっていうものの議論を我々としても、もう少しお時間いただいて、しっかりとこう整理して、
0:13:36	網羅的な説明、全全般にわたって通じるようなお話をさせていただき、そこを少しお時間いただいてですねご議論させていただき、それはそういうのは、
0:13:49	また後、ご議論させていただきたいなというふうに思っています。以上です。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:13:53	はい。
0:13:54	今、新居さんがおっしゃったところはね、
0:13:57	こちらね皆さすがに何て言うかね、直感的にすごく理解される方が多いので、
0:14:03	避けたい取り出しのあたりで、清野医師がいるって言った話はね、言われなくてもわかってますという、そんな感じだったんです。
0:14:11	そこでいきなり遮へい体がどうのこうのって言い出したもんだから、
0:14:16	向こうは何を答えてるんだろうというそんな受け取り方をしましたね。
0:14:21	今ここでポイントは性能維持施設を減らしていくってのがキーワードだったんです。それは一貫して沢川なくて、
0:14:29	それはね減らせるものはどんどん減らしていきましょと。
0:14:32	それを減らすにあたって何が困ってるんですか。
0:14:35	困ってるんだったらそれをね正確に行ってくださいと。
0:14:38	ということなんです。
0:14:40	そういう問いかけをしても、それを困ってるって答えようとしないと、時間がかかるという一点張りですね。
0:14:46	そうすると我々何も言えないわけなんです。
0:14:50	で、結局どういう印象を持つかって言ったら、
0:14:54	何かね、検討できてないでかくしてんじゃないか、そんな言い方になってしまったんですけれど。
0:15:00	実際私も後で会合で怒られちゃいまして、
0:15:03	これまでね時間あったと思うんだけど何やってるんですかってこっちも怒られてるわけなんです。
0:15:09	そこをねよく理解していただいて、
0:15:11	まずね、積極的に、
0:15:14	性能維持施設を減らそうと思えばどうなんだ。
0:15:17	といったところにとって議論していかないと、
0:15:20	難しい難しいと時間かかりますっていうのはもう聞き飽きたって感じなんです。
0:15:36	わかりました。時間がかかるのでというところではなくて何をしなくてはいけなから、もう少し時間かかるというところをちゃんと言わないといけなっていうことですよね。
0:15:49	そういう、そういうご説明をしたいのであればもちろん伺いますよ。
0:15:54	ほとんど。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:15:56	まずテーパーきましょうか。
0:15:58	ペーパー、結論が先に行ってこれ調査。
0:16:04	何が言いたいのこれ。
0:16:09	以上です。1 ポツの現状認識につきましては、
0:16:15	新井部長からご説明した通りですので、説明は割愛いたします。2 ポツの方当面对応方針と、こういうところにつきましては、
0:16:28	第二段階の円滑な移行をいうのが、最も重要だと思っております、その中で、
0:16:35	移行に向けて、このような説明をしたいというのをまとめて参りました。
0:16:41	で、スクロールしてください資料。
0:16:46	それで、(1) 番にありますけれども、基金基本のご説明で不足していると思ってる点をですね、このような資料を作ってご説明したいという話を作っています。
0:17:00	①番につきましては、すでに個別にはご説明をしておりますので、ご承知いただいていると思えますけれども、まず導入として、
0:17:08	この第二段階の移行に伴って不要となった設備については整理をいたします。その上で、
0:17:16	②番の方で残ってるすべての性能施設につきまして、
0:17:21	我々の方で抽出しておりますフローをに従いまして、①から④の識別をしたものをお出ししたいというふうに思います。こうすることで、
0:17:32	今回、④番について、
0:17:35	一部の施設をですね自主的に管理する施設としたいというふうな話をしましたけれども、それが何なのか、その他の設備は何なのかというのが、
0:17:47	ご理解いただける状態になりまして、全体を網羅できる議論ができる土壌がつかれるというふうに思っておりますので、まずはそれを作ります。
0:17:56	それで次のページになります。(2) 番の方につきましては、
0:18:00	今ほどご指摘ありましたけれども、我々が自主的に管理する施設と、こういうふうにしていたものにつきまして、
0:18:08	点検故障時に使用しますと、こういう話はこれまでも説明しておりましたけれども、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:18:14	それをですね、自主的に管理する施設としたものにつきまして、こちらに示すように、予備機として維持1機能維持を行う必要があると、こう考えているものは何なのか。
0:18:28	故障時等において設備が自動的に起動すると、こういうものは何なのか、こういう整理をさせていただきます。
0:18:35	それで、(3)番につきましては、これらの方整理をして議論をさせていただきました結果、になりますけれども、なので少し先の話になりますけれども、自主的に管理する施設と、こういう概念、地震が、
0:18:50	性能維持施設に対して適用することがおかしいというご指摘でございましたので、結論といたしまして、第二段階に移行した後も機能要求があるという設備につきましてはすべて性能維持施設とし、
0:19:03	位置づけるという話をしたいと思います。
0:19:07	その上で設備について維持管理の負担の削減というのは重要だと思っておりますので、プラント状態を踏まえまして、具体的な維持管理の方法をそこにつきましてはできるべき合理的な
0:19:21	方法とするということも検討して参りたいと思います。これまでにご説明しておりますのは、
0:19:26	リカバリープラン設備について、特別な保全計画にするという話を説明しておりますけれども、それ以外にももう少し何か検討できないか。
0:19:36	こういうところを、をやっているところありますので、必要に応じてその辺もご紹介していくということを考えております。
0:19:44	以上が第二段階に移行するまでに、我々としてできるというふうに今私は考えているものでございます。
0:19:51	しかしながらそれでは多分まだ足りないというふうに思っておりますので、3ポツにお示ししております通り、第二段階移行後にですね、引き続き検討すべき事項というのがあるということを理解しておりますので、
0:20:04	その対応について記載しております。
0:20:06	両括弧1番が、削減後、
0:20:11	削減効果が大きいと考えられるものから、維持管理負担の軽減に、積極的に取り組んでいくと、こういうふうにこれまでも、
0:20:21	ご説明しておりますけれども、それが具体的にどうするのか、こういうのをまとめております。①は具体的には、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:20:29	設備故障時における原子炉安全への影響、復旧までの時間的な余裕を復旧期間等について基本評価をいたしまして、さらに削減できないか、こういうのを検討して参りたいというふうに考えております。
0:20:43	そのうち、原子炉安全への影響というところにつきましては、
0:20:48	化学的に活性なナトリウムを保有するリスクの低減をいうものを、を最優先にやっていきたいという話をしておりますので、
0:20:56	これらのを今後実施する廃止措置工事の影響度について勘案していくと、こういうことを、を記載しております。
0:21:03	それで、(2) 番にありますけれども、この検討の結果、削減可能と評価できたものにつきましては、適切な時期に、違反措置計画の変更申請を行って参りたいというふうに考えております。
0:21:14	資料のご説明は以上です。
0:21:28	僕もこれ、
0:21:32	タケウチです。
0:21:34	今、説明スルーしている間にですねこちら話を聞きながらですね、議論してきましたが、ポイントは、
0:21:44	燃料が取り出しが完了してプラント状態が変わっていると。
0:21:50	リスクも変わっているはずだと。その前提において、本当に必要な性能維持施設というのは何かということを選び直すと。
0:22:04	いう認識だと思っておりますが、まずそれはそれでよろしいですね。
0:22:19	阿部さんあれ、あれですかね、私に質問されたところです。
0:22:23	確認です。
0:22:25	はい。
0:22:28	この資料の(2) 番にある通りですね、例えばこのような評価をして、廃棄できないかという検討をします。はい。で、それにどのぐらい時間がかかりますかっていうご質問です。
0:22:42	3日までに、時間限られてますので、できるだけ過ぎたいと思っておりますけれども、ちょっと現時点で、いつまで、こういうのは明確にということができないです。
0:22:53	だからそれができるまでに決まってないんですよ。
0:23:01	はい。できるだけ急ぎます。
0:23:04	それ真剣にやらないと、
0:23:07	もう今姿勢うたわれてますから、
0:23:09	だから全部とりあえず性能に戻して、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:23:13	これで理解してくださいって言ったら、磯さん何ていうかな。
0:23:17	作ってもそんな話はそれを持っていないよね。
0:23:21	一応この間の、こちらの理解をしていただいて、
0:23:25	そこをねまず今真剣に見てますっていう姿勢がないとね。
0:23:36	調査、それはやるわけだからやりましょう。
0:23:43	はい、今やってるところですか。
0:23:47	だから、今の時点でいつまでってのは言えないかもしれないので、
0:23:52	なるべく早く認可が欲しければなるべく早くという、
0:23:57	状況で、
0:23:58	それでやりましょう。
0:24:04	はい、花井富井ともらえない。
0:24:07	はい。
0:24:11	記述はちょっと今日は、申し訳ない。いえない。それでね、磯野さんすみません、勝手にしゃべってなかったら、どうぞ遮ってくださいませ。
0:24:22	とにかくうちらわーそういった馬淵のところまで行って話があってこうなってる話で、
0:24:29	拘束すると勝手にね、ここで全部決めてやるっちゃうわけにもいかないので、
0:24:35	さっき言った荒井さんの質問もね、どうぞ出してもらっていて、多分もう1回公開でやらないと、でいてもなく、こちらが難癖つけて認可遅らしてるということになってもしけないので、
0:24:49	そういう議論を僕は公開でしなきゃいけないと思ってるんです。
0:24:53	近々やっぱりもう1回会合しなきゃいけないんじゃないかってのが意見なんですけど。
0:24:57	細野さん何か。
0:24:59	否定されますか。
0:25:05	いやいいんじゃないすか。
0:25:09	やればいいと思います。西郷は、はい、ありがとうございます。
0:25:17	今度何ちゅうかちゃんとかみ合った会合にして、
0:25:23	廃止が進むようにやっていかないと、
0:25:27	我々も怒られる。
0:25:33	僕ら怒られる分にはいいんですけどね。
0:25:37	辞書はね、の設備があるっていうのがよくわからなくて、それが急に性能維持施設になりますっていうのもわからないんですよ。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:25:47	ホソノ疑問に一切答えてなかったなというのが、僕はあの時に返して、
0:25:52	月曜日の会合に対する印象ですよ。はい。ここは全く合致してなかったと。
0:25:59	規制庁側等、もんじゅ側の方で、
0:26:05	全くすれ違っていたと、内村さんの回答は全くずれていたと。
0:26:11	いうふうに理解をしていますけれども。はい、畑田です。はい。そんなに承認したんです。はい。私が入れなくて申し訳なかったんですけど。
0:26:20	細尾さんがいけばね、私ごとき当たり前に収まったと思うんですけど。
0:26:26	それは、
0:26:28	おんなじですよ。
0:26:32	水井部長に聞いてみたらどうでしょうね。水井部長は理解をしてくれていると思いますよ。清野内野制度実質の考え方ってということについて、はい。なるほど。
0:26:45	ていうのは、
0:26:46	ちょっと僕は理解するんですけども、はい。
0:26:49	だから、性能維持施設か、性能維持施設でないかの、
0:26:56	実原価。
0:26:57	白黒しかない。うん。
0:26:59	そこに私も実は2択しかないと思ってるんですよ、法令上、
0:27:05	実施のフォームの設備が。
0:27:07	その許容されるとするのであれば、なぜその自主保安の設備が急に性能維持施設に変わり得るのかというのがわからないんですね。
0:27:17	法令上そんな一言もないんですよ。
0:27:21	そういうふうに認可した覚えもないし、
0:27:24	そこ、そこ、そうそう機構が、我々が正しく理解することができる。
0:27:33	自主保安で実質的に、
0:27:37	不適
0:27:38	検査もちゃんとやりますから、何かあったときには、性能維持施設にしますという考え方が間違っはいたんです。
0:27:49	そんな補をしてしをしたことが、やっぱり問題かなと。
0:27:56	蔵さんのペーパーにもありましたけども、
0:28:01	3ポツの(1)の①のところですね。
0:28:04	これは
0:28:06	こういう考え方だと思うんですよ。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:28:08	復旧までの時間的に言うと考えて、そうということであれば、時間、例えば事情はいいと思うんですよ。
0:28:18	ただ、製造施設にするには、製造施設のクレジット取らなきゃいけないから、何がしか保安規定とか、廃止措置計画の中で記載の、
0:28:30	工夫は必要だと思いますよ。
0:28:32	思いますけれども、
0:28:34	時間余裕が1ヶ月ありますっていうんだったら、そんなの性能維持施設として、他の
0:28:41	常用系等の同様の管理をすべきではないと思うんですよね。
0:28:46	無駄だと思うので、
0:28:50	予備機がありますと。
0:28:52	予備機で十分じゃないですかと思ったらそっちの予備機の方を性能維持設置登録してしまえばいいと思うんですよ、汎用性のある可搬型のね、予備機がありますというのであれば、
0:29:02	そういった柔軟な発想で減らしていくんだと思うんですよね。
0:29:08	それを自主保安っていう名前で言われちゃうと、全くわけがわからなくなってしまうっていうのは、月曜日の会合のすべての
0:29:19	泥仕合可能原因だと思いますけれども、
0:29:22	それで細田さん。
0:29:24	この間の年面談を通じて僕何となく印象を受けたのか、だから提示系事件で何か縛りがあって、
0:29:34	なんかねちゃんとそういう人数がそろわないと定時検とらない。
0:29:41	みたいなのところなんか数合わせをしたいのかといった印象を受けたんです。
0:29:47	です。でね、それはね、性能維持にするんだけれども、必要に応じて必要な研究をすればいいと言ったようなところで、柔軟な
0:29:57	ことをやっていけないものかなと思って、
0:30:00	今の方の発言に今回まとめてきたんですけどどうですかね。
0:30:05	定時検の項目をその体系は減らせばいいんじゃないですか。うん。例えば分解点検はしないと。
0:30:13	いざ提示井崎性能維持施設にするときに分解点検をしてやるような、廃止措置計画認可でしまえばいいんじゃないですかね。例えば、はい。
0:30:25	例えばデータからそういう議論あり得るってことですよ。
0:30:29	あり得ると思います。はい。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:30:31	その方がより健全ですよ。はい。情報とか何とかっていう、あと一応だまされてるんで、電力会社にやられてるんですよ。おそらく
0:30:42	それぞれからはです。どうぞ。
0:30:45	すいませんアライです。
0:30:47	で、
0:30:50	今の自主保安設備について、我々、これまで表のところで事象案設備という単語を使ってしまったところがあるので、
0:31:01	今の議論踏まえては、我々としてはそこについて何ら異論はないので、次の公開のバーですね、
0:31:12	なんていうのを撤回って言い方変なのかもしれない自主保安設備という概念について、我々、H
0:31:22	なんていうか、拡大解釈というかちょっと少し変な整理をしてしまったので、
0:31:31	そういう概念というのはもうやめますというか何かそういう発言をした方がいいんですかね。
0:31:39	まずいろんな意味での整理という意味で、
0:31:42	いやしなくていいですよ。
0:31:44	それはしなくていいですか。はい。
0:31:46	だって別に考え方が変わって変わるなんて当たり前ですから。
0:31:51	うちにそんなの謝っていただく必要もないし、
0:31:54	撤回に立ってとか、すみませんでしたなんていうんじゃないですよ。だからちゃんと言えればいいことですよ。おっしゃる通り、これあるスポンサーとで、別に杓子定規な、
0:32:07	告知があったことは要りませんと。
0:32:10	前回の会議を受けてこうしましたというのを淡々と覚えてもらえばいいってことですね。
0:32:16	わかりました我々としてのその性能維持設備というものの考え方であり、その考え方に踏まえた見直しについて淡々と説明者こういうふう
0:32:29	に管理をして参りますと。
0:32:29	そういうのを説明をしていくということと理解しました。はい。それから
0:32:34	荒井さんと細田さんに相談なんですけれど、
0:32:37	前回、出野さんがね、
0:32:41	ナトリウムの取り出しとかでようわからんと。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:32:44	よくわからないから減らせませんと、いう言い方をするんですけど、
0:32:48	僕はねそこももっと柔軟な考え方をすべきだと思うんですけどね。
0:32:52	ナトリウムの取り出しがね。
0:32:55	去年から全く一元化もう1年半経つのか、何にも説明がなくて、何も聞いても誰も説明答えないと。
0:33:03	そういう状況で、わからないわからないと言われて、何も減らないと。
0:33:07	僕ねこれもおかしいんですけど、何とかありませんかね。
0:33:22	エリアですけども、今有吉さんのご指摘のところにつきましては、また、先ほど来から荒委員と城の方から、同じ趣旨でご説明させていただいているお話の中で、
0:33:39	今画面に映ってる資料でいくと2の両括弧3ですね。
0:33:44	ナトリウムの状態もS s - F下げるとかですね、システムのループから一次系も、名取分ドレンしているということで状態が変わってるわけですね。
0:33:58	ただ、リカバリープランとかで使う可能性とかもあるということで性能維持施設には残していくんですけども、
0:34:06	維持管理の方法については、プラントの状態を踏まえてできるだけ合理的な方法にするということについては、すでに検討を進めているところもありますので、そういったところですね。
0:34:17	丁寧にご説明をさせていただくのかなというふうに理解してごさい。
0:34:24	これもう、すみません、僕、今の言い方をされると、
0:34:28	さっきから言ってる、何が変わったのかなと思うんです。
0:34:35	これ質問に答えてないよね。
0:34:37	同じこと繰り返してるだけで、
0:34:42	どうしようかなという。
0:34:44	いや、
0:34:48	アライですけど、そうかなあ。
0:34:52	製造員設備から外してね、して、またその
0:34:58	杉井。
0:35:00	移送みたいなタイミングの時にもう1回、
0:35:04	とか使うとか或いは今回の場合リカバリープランでなった場合、
0:35:11	急に来るわけではないんですけどもだんだんやばくない。
0:35:16	例えばねだんだんやばくなってきて、そのリカバリープランを使う、リカバリー設備を使って、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:35:22	循環をしないといけないというときに、
0:35:25	もう1回その使う
0:35:29	Tなるわけでねそうするとそれをもう1回その性能維持設備に、
0:35:34	戻すという、この許認可行為が発生してしまうので、
0:35:41	なので素行が、
0:35:44	躊躇するんですね。
0:35:48	うん。なので、性能維持設備という意味では、
0:35:51	本当にもう、もう今後はもう未来永劫を使わないってな。
0:35:57	たものを外して、廃棄していく、その解体していくっていう。
0:36:04	大賀。これ風景の方も基本的には
0:36:10	断続的にでも使ってるようなあれ、断続っていうのはものすごく長期間にわたっての単独でも、それはやっぱり引き続き維持してい。
0:36:19	というのは変わらないので、
0:36:22	ちょっとそういうことであればね、例えば性能維持残しておくだけでも、
0:36:29	やっぱりさっき言ったその管理の方法の柔軟化ということで、当面は、
0:36:36	置いておきます。例えば、極端なこと言えば、
0:36:39	使うときに点検しますっていうことはあり得るんでしょうかね、遅さ。
0:36:48	あると思います。
0:36:49	これはあると思います。
0:36:52	ただそういうことで、もう皆さん、
0:36:54	何が緩和できるのはわかりませんが、
0:37:02	考え方をすれば、ある意味、立地をすれば、①番になるんじゃないですか。小塚こっちの①番、はいはい。
0:37:12	だから、
0:37:13	荒井さん
0:37:15	そちらはね、一番合理的って思うから徹底して考えたことはどうですかね。
0:37:20	それで、こちらにぶつけてもらった方が僕はいいと思うんですけど。
0:37:24	今それをされないもんだから僕らやきもきしてるということなんですか。
0:37:31	はいわかりました
0:37:33	今大園さんからその間って言っていただいたしそれは、そもそもそのJ E A Gの中の特別な保全計画っていう、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:37:45	点検計画の外側も、もう一つ別枠で特別な保全計画っていう概念が、尺の中にも書かれていて、その思想で、
0:37:56	管理するだから、あとはその事業者責任で、
0:38:00	ユーザー責任って言うのは、点検を全く、必要な機能回復の点検をしなければ、使う前にはもうフルスペックで点検をしなくちゃいけない。
0:38:13	そうそれは時間がかかる、お金もかかる。一方で、
0:38:18	少しグレードを下げて維持管理をしておく、復活させる時の点検は不要で、それは維持しているとか待機させる間の時間軸で、トータルコストがどっちが高いか安いかっていう判断を、
0:38:34	我々はしていくわけですね。なので、ゆるゆるとこうしてを置いて、最後に、あともう1、1、一声だけ点検を追加して、
0:38:47	使用合金を持っていく。
0:38:49	そういうどちらが合理的かという、何、どこが効くかってやっぱり、その点検コストなんですね。
0:38:59	維持コストですから、そこはそういうふうに、どうどういうふうに間、
0:39:05	特別なところの中でプラント維持管理をしていくか施設管理をしていくか、それがどう、どちらがおりていくかというそれを我々として考えて、
0:39:16	ご説明していければと思いますが、
0:39:20	はい。
0:39:21	そういうようなことでこの資料もそういうふうに反映していただいて、
0:39:26	こちらにぶつけていただく中でどうでしょう。
0:39:28	今度の会合で、
0:39:36	はい。資料を整えるのとあと先ほどの今の画面で
0:39:41	乗っかってる①②の整理、これ速やかにもんじゅの方ですね、体制整えてやる、やります今もうすでに始めておりますので、
0:39:52	それをしてですね、
0:39:57	次の会合をのセッティングにですね、調整をさせていただければと思いますが、はい。
0:40:06	ぜひ、それで行きましょう。
0:40:13	はい。ありがとうございます。どうぞ。もんじゅの方は何かありますか。
0:40:18	あります。特にありません。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:40:20	頑張ります。はい。頑張って、
0:40:24	はい。ありがとうございます。ございます。どうぞ。
0:40:29	今後は頑張ってって精神論で終わっちゃったら、いや、これしかないじゃないですか。
0:40:35	横井さん何かあります。
0:40:39	はい横井です。はい。すみませんいろいろこれまでも面談の中で、この議論は繰り返されてきたというふうに思っています。
0:40:48	先週の会合にも、監視委員会後も参加させていただいて、両者の食い違いというか平行線となっている、あそこの中身、
0:40:59	あと今し方ご議論のあったような形で、かなりですね、業者、我々考えが近づいてきたものと思います後ブレークダウンして、
0:41:11	きちんとお示しをするということが重要だと思ってますので、私の方も、機構とともにですね、確認をさせていただければと思います。いろいろお手数かけましたけれども、
0:41:24	我々も頑張りたいと思いますので、引き続きよろしくお願いします。
0:41:29	横井以上です。はい。
0:41:34	はい、ありがとうございました。それでは本日の面談を終了にしたいと思います。どうもありがとうございました。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。